



千里金蘭大学

# 学報

Vol.11  
APRIL 2016

〒565-0873 大阪府吹田市藤白台5-25-1

## 千里金蘭大学 後援会

### 『後援会からのご挨拶』

この春、晴れて入学された  
新入生の保護者の皆様、誠に  
おめでとうございます。そして  
在学生の保護者の皆様には、  
日ごろよりの後援会活動への  
ご理解とご協力に厚く御礼申  
上げます。

後援会は、保護者により組  
織された団体で、本学学生へ  
の支援を中心に活動しており  
ます。「学生たちの教育内容  
の強化」「課外活動の充実」

「学校生活環境の整備」など  
に向けた大学経営の財政的基  
盤の充実を、保護者同士で支  
え合うのが後援会の基本的な  
役割です。

現在、後援会会員の皆様は  
373名(平成28年4月1日  
現在)所属され、今年の新一回  
生の保護者の皆様においては  
全保護者の皆様のご入会をい  
ただきました。熱い志に感謝い  
たしますとともに、二年目を

迎えた本後援会の事業をま  
ます将来性あるものへ内容充  
実の使命を感じております。

さて学生を取り巻く将来  
はますます競争社会へと加速  
し、質の高い人材を輩出する  
機関としての大学は一層の教  
育力、育成力が求められてい  
ます。私たち保護者には後援  
会費による支援はもちろん、  
さらに私たち保護者が社会で  
培ったさまざまな知見や情報  
など、さまざまな見方・面  
でも教育と大学を支えていく支  
援の力が求められている時代  
と感じております。

「学びの質への支援」「学生  
生活の快適性への支援」そし  
て「学生の将来と大学の競争  
力の強化支援」。後援会は発  
足より二年目を迎え、これら  
目的に向かって役員一同、一層  
努力して参る所存です。保護  
者の皆様には後援会活動にぜ  
ひ積極的にご参加いただき、  
会員の保護者の皆様と大学と  
の掛け橋になっていただき、共  
により千里金蘭大学づくりを  
目指していただきたいと思います。

今後ともご支援ご協力をよ  
ろしくお願いいたします。

平成28年4月1日  
千里金蘭大学 後援会副会長  
今井 学士

### 新入生・保護者の皆様へ

新入生の皆さん、千里金蘭大  
学へ入学おめでとう御座いま  
す。金蘭会学園は皆さんの入学  
を歓迎し、お祝いたしますと  
共に、皆さんを力の限り支援い  
たします。新しい環境に期待と  
不安を持っていることと思いま  
すが、精一杯頑張ってください。

まずは、大学になれることが大  
切です。高校での50分授業から  
90分授業になり、緊張感の持続  
と学習内容が濃くなりますの  
で、予習・復習が必要となりま  
す。また、各学科共に学年進行  
に伴う積み重ねとなっております  
ので、最初から気持ちを引き締  
めて取り組んでください。大学  
での学びの基本は、自分で調べ  
て勉強することです。そして、  
自分で考えて結論を導き出す  
のです。知識の吸収だけでなく、  
自分で考えることを貴女方が  
自分に植えつけるのです。こ  
れらを通じて、努力すること、  
我慢すること、根気、それに誠  
実さを身につけることになりま  
す。これらこそが、あなたの方の一  
生を通じての大きな財産とな  
ることでしょう。どうか、自分で  
勉強して、自分で考え、本当の  
ことは何かを求めて、頭(脳)と  
心の鍛錬をして自分を高めて  
ください。

学生生活の中で良き友人を  
作ってください。その友人は生

涯を通じて大切な人となるで  
しょう。加えて、読書の習慣も  
身につけて欲しいものです。

保護者の皆様、本学では学生  
を金蘭会学園の教育理念に  
従って教育しております。金蘭  
会学園は110年ほど前に、当  
時の若い高等女学校卒業生が  
女子教育の必要性から造った学  
校が始まりです。勉強して人の  
役に立ち、力強く志の高い女性  
の育成が教育目標であります。  
学園内には女子の中学校・高等  
学校があり、同じ理念で教育し  
ております。

千里金蘭大学では、保護者の  
皆様のご尽力の下に、昨年度か  
ら後援会組織が形成され、学  
生の生活環境、勉学の環境整備  
に助成をして頂いております。  
大変ありがたく感謝申し上げ  
ております。本年度も、後援会  
にご加入くださいますと、学生  
生活、勉学環境にご助成賜り  
ますようお願い申し上げます。



平成28年4月1日  
金蘭会学園理事長  
千里金蘭大学学長  
島崎 靖久

# NEWS

平成28年度入学式報告



## 新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます

平成28年度入学式が4月4日(月)に執り行われ、食物栄養学科77名、児童教育学科48名、看護学科106名、計231名の新入生が、千里金蘭大学学生としての第一歩を踏み出しました。

厳粛な雰囲気のもと式が挙行され、食物栄養学科・下村咲季さん、児童教育学科・安田みづきさん、看護学科・水原優衣さんによる新入生代表宣誓が行われました。続いて学長入学許可宣言、学長式辞があり、芳友会・三輪明美会長並びに後援会・今井学士副会長より祝辞をいただきました。

あいにくの天候となりましたが、キャンパス内は新入生やそのご家族の晴れやかな笑顔であふれました。  
千里金蘭大学に入学されました新入生のみなさま、ご家族のみなさま、おめでとうございます。

### 児童教育学科

## 児童教育学科へ名称変更

新入生以外の在学生保護者の皆様方には昨年お知らせいたしましたとおり、文部科学省へ学科名称変更届出を行い、平成28年4月1日より生活科学部「児童教育学科」を「児童教育学科」と名称変更いたしました。なお、学位(児童学)及びカリキュラム等に変更はありません。

「児童教育学科」のもと、教職員一同が教育・研究活動により一層積極的に取り組み、地域社会に愛され、より高い評価をいただけるよう、努めてまいります。

### 百花繚蘭祭

## 盛り上がる大学祭

平成27年10月24日(土)、25日(日)の2日間、大学祭「百花繚蘭祭」が行われました。本年度は天候に恵まれただけでなく、模擬店や中央屋外ステージでの出演グループ数も増え、例年以上の来場者で賑わいを見せました。

模擬店では、ゼミのグループやクラスの有志が集まり個性豊かなお店を出し、ステージでは、クラブ活動で練習した成果の披露や、ダンス・歌のパフォーマンスなどで大変盛り上がりました。また、毎年恒例となっている花火も、観客の皆様から歓声が上がるとなりました。大学祭実行委員会を中心とする学生たちが、大学祭を成功させようと力を合わせて活動してきた結果だと思えます。ご来場くださった方々やご協力いただいた皆様、ありがとうございます。平成28年度の大学祭は、10月22日(土)、23日(日)を予定していますので、どうぞご期待ください。



### 日本助産評価機構による第三者評価

## 学士課程初の適合認定を受けました

本学では2015年度に「一般財団法人日本助産評価機構の専門分野別認証評価を受審しました。1年間に及び書面評価および実地調査を経て、このたび「基準適合認定」と認められました。この認定は、4年制大学(平成26年5月現在79校)における助産師教育課程(学士課程)においては日本初の栄誉となります。

助産師国家試験受験資格を得るには、法規で定められた助産専門科目28単位を修得する必要がありますが、多くの大学では、統合カリキュラムと称して単位数を減らすことが行われています。しかし本学では助産科目で28単位をしっかりと担保しています。助産師にとって重要な正常産を扱う力を病院実習と助産所で実施していること等、助産実践能力の修得に向けた教育内容が評価されました。また、母性看護学と助産師教育科目の履修の順序性等カリキュラム上での工夫に加え、教員が学生個々の能力レベルを把握し、継続的にかかわることができるよう配慮している点や、実習施設と密に連携を取り指導体制を整えている点についても評価されました。これらは、看護学科一丸となって助産師教育の質の維持向上に努力してきた成果だといえます。今後も長所として評価された項目をより発展させ、教育・研究活動の一層の充実と発展に努めてまいります。

### 平成27年度学位授与式報告

## 192名の旅立ち

平成27年度学位授与式が3月15日(火)に執り行われました。学位記授与においては、各学科総代が登壇し、島崎学長より食物栄養学科64名、児童教育学科43名、看護学科85名、計192名に対して、学位記が授与されました。

また、式中には、下記の学生に対し「商議員賞」並びに「佐藤賞」の授与が併せて行われました。「商議員賞」は学業、品行ともに優れた学生に対して、また「佐藤賞」は学業を含めスポーツや社会貢献に優れた活動に取り組んだ学生に対して与えられるものです。

最後に、各学科代表から誓いの言葉があり、それぞれに学生生活を支えてくれた方々への感謝と今後の抱負が述べられ、会場全体の拍手の中で卒業生が退出し、学位授与式は無事終了いたしました。

卒業生のみなさまの今後の活躍を、大学教職員一同、心より祈念いたしております。卒業、おめでとうございます。また、ご臨席賜りましたご来賓のみなさま、誠にありがとうございました。

	食物栄養学科	児童教育学科	看護学科
総代・商議員賞	朴 貴英	木村 衣里	関 茅晶
佐藤賞	古田 芽育子	大森 早記	西浦 佑季美
誓いの言葉	細田 麻世	薄 遙香	小山 玲奈



### キャリアサポート課

#### 就職の状況

昨年度は就職活動時期が後ろ倒しとなり、説明会などの採用広報の開始時期がこれまでの「大学3年生の12月」より「大学3年生の3月」に、また面接や筆記試験などの選考時期が「大学4年生の4月」より「大学4年生の8月」に繰り下げられました。学内での就職セミナー等で就職活動時期が大きく異なっている事を繰り返し伝えた効果か、学生達の活動に大きな混乱は見られませんでした。今年度は採用広報の開始時期はそのまま、選考開始時期が「大学4年生の6月」と前年度と比べ、2ヶ月繰り上げられます。4月から1年間を通じて実施する就職活動セミナーや各種講座を通じ、就業力を身につけると共に、就職状況の変化をその都度お伝えし、学生の就職活動を支援していきます。

#### 平成27年度 卒業生内定状況 (3月28日現在)

食物栄養学科	児童教育学科	看護学科
98.1%	97.5%	100%

#### 看護学部 国家試験合格率

看護師	助産師	保健師
100%	100%	87.1%

# 局 部 紹 介

教養教育センター

## 教養教育の三つの役割

教養教育センターは、全学科に共通の授業を幅広い分野にわたって用意しています。なぜこのような教養科目が必要なのか、その役割は次の三つに整理されます。

一つ目は、大学生としての基礎技術を身につけることです。本を読み、先生の話を聴き、理解したことを文章もしくは口頭で表現する「スタディ・スキルズ」を二次にしっかりと身につけることが、教養教育の基本的な役割です。

二つ目は、学外の体験を通して視野を広げることです。「インターンシップ」と呼ばれる就業体験や「異文化理解演習」で外国の文化や生活に接することで、自分や日本社会を改めて見つめ直すことが出来ます。

三つ目は、心を育てることです。哲学・文学・茶道などの科目を通して、人としての心を豊かにすることは、社会人として生きていくために不可欠です。

学生さんも保護者の皆さんも、教養教育の役割を十分に理解して、充実した学生生活を過ごしてください。

教養教育センター長  
寺口 瑞生

地域共創センター

## 「地域貢献」第三の使命

新入生の皆さんは「地域共創」と聞いてあまりピンと来ないかもしれません。大学には教育、研究という二つの基幹的使命のほかに「地域貢献」という第三の使命があります。本学は従来から学内の教育研究資源を基盤とする生涯学習講座(社会人対象)を展開してきましたが、近年、必要とされるようになってきたのは社会の要請に大学がどのように応えていくかという視点です。地域社会のさまざまな問題の発見・解決に大学がいかに関与しようとしているかが問われているわけです。

私たちのセンターは「地域を共に創る」ために設置され、地域社会との交流・連携の窓口となっております。教職員だけでなく、ボランティアやインターンシップといったかたちで学生諸君が直接地域とかかわり、貢献できることもたくさんあります。また、海外研修や国際交流も私たちのセンターの役割の一つです。

オフィスは図書館の二階にあります。気軽に声をかけてみてください。皆さんの学生生活が社会との関わりの中で充実したものになるようサポートしていきたいと考えています。

地域共創センター長  
岩谷 智

付属図書館

## 新入生諸君、入学おめでとう

大学生活への期待に胸を膨らませていただくだろうが、初めてのことで戸惑うことも多いと思う。

諸君は、これから進路に迷ったり、将来への不安にかられたりするときもある。そのようなときにはぜひ図書館の利用をお勧めする。

まず図書館には、当たり前のことだがたくさん本がある。この図書館にはどれくらいあるか。何と20万冊以上もある。とてつもない数で想像を絶するだろう。すべて人類の知的活動の所産だ。これらの書物は、諸君のどのような疑問や不安にも誠実に答えてくれるはずだ。

入り口は2階だ。本学の図書館は本を読むだけの場所ではない。入り口を入ってすぐ右側にラーニングモンスのスペースがある。そこにはデスクトップ型のコンピュータ、ノートパソコン、タブレット端末が常設されていて、カウンターで手続きすればいつでも利用できる。資料の検索や印刷も可能だ。レポート作成や資料収集に幅広く利用されている。新入生諸君も存分に利用してほしい。

付属図書館長  
國井 哲義

大学生協

## 「じちやうさま」の声を大切に

千里金蘭大学生協は、いよいよ2年目に入ります。みなさんのご利用のおかげで千里金蘭大学生協は、昨年3月の設立から1年間「無事」に運営することができました。みなさん、ご利用いただきありがとうございます。

全国には約200を超える大学生協があり、それぞれの生協は組合員の出資金で成り立っているものです。昨年度、千里金蘭大学生協では年間8,500万円の供給高(利用総額)がありました。これはみなさんに1年間ご利用頂いた金額の総計となります。

生協では、安心安全で温かいメニューを準備する食堂、お弁当やデザートを提供するシヨップ、学業に必要な教科書・教材の販売、

千里金蘭大学 生協店長  
依岡 孝子



共済、自動車教習所申込やレンタル袴などのさまざまなサービスを提供しています。これからも皆さんの利用でより良い生協を創っていきたく思います。

学生支援センター

## 皆さんの学生生活をサポート致します

学生支援センターは、教務課・学生サポート課・キャリアサポート課からなり学生生活をより充実したものとするために、入学から卒業までの学生生活の中で起こる学修や生活上の諸問題、進路・就職などに対応する総合的な相談および案内をするセンターです。学生生活を送る中で、何か疑問に思ったとき、どこに聞けばよいか

わからないとき、迷ったときは、一人で悩まないでとりあえず、学生支援センターを訪ってください。その他にも、学内を盛り上げるためのイベント企画など「こんなことがしてみたい」と思いついたら、サポートをしていきますので企画をお持ち込みください。有意義な学生生活を送れるよう学生支援センターは応援しています。

学生支援センター長  
上田 奏子

# MESSAGE

## 生活科学部 食物栄養学科

食物栄養学科長 賈賀 智子

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。食物栄養学科では、食と健康の専門職である管理栄養士の育成を目指しています。この管理栄養士という資格は厚生労働大臣からの免許であり、国家試験の合格者に対して与えられるものです。その仕事の内容は病院、学校、事業所、福祉施設、給食会社などで栄養指導や献立作成を行なう、あるいは食品会社で開発を行なう、といったもので極めて多岐にわたり、やりがいのあるものです。一方、これらの仕事をするためには、人体のしくみや、病気のこと、食べ物のことを始めとして、栄養学のさまざまな知識を身につけることが必要です。どうかこの4年間、しっかりと勉強して将来目指す夢をかなえられるようがんばってください。

また、この4年間は勉強に加えていろいろなことを吸収できる時期でもあります。クラブ活動やさまざまな社会活動を通じて経験をつみ、また友人もたくさんつくって、有意義な大学生活を送れるよう願っています。

## 生活科学部 児童教育学科

児童教育学科長 中島 保子

桜満開の4月4日、あなた方は入学してこられました。まずは「おめでとうございませう！」

今、あなたたちは大学生活に、とても大きな期待を寄せるとともに、それと同じくらい不安な気持ちもあるのではありませんか？大丈夫です。本学は、目の届きやすい大きさの大学であり、よき先輩、面倒見のよい先生やスタッフがそろってあなたたちを見守っています。

私たちは、あなた方が社会に役立つ、とりわけ、子どもたちにとつてすばらしい味方であり、子どもたちを守り、導く、「子ども支援のスペシャリスト」に育っていくことを願って厳しく指導します。

高校までの生活とは違い、大学では自由が多いですがその分、自分の責任は大きいです。つまり自立が求められているのです。大学生になった今、まず、身近な自立として「時間に遅れるな。」です。どんな場合でも時間に厳しい自分を育ててください。次は、よき先輩を見習いながら「挨拶を含め、いつでも品のある人になろうとする努力」をしてください。常に優雅に、にこやかな笑顔を忘れなさい。また他人には優しく自分には厳しく「何かに精一杯がんばれる自分になろう」としててください。そんな皆さんの姿はきっと輝いていて誰の目にも魅力的に見えるでしょう。何より、皆さんの大学生活が楽しく実りあるものになると思います。皆さんの努力をしっかりと応援します。よき大学生活を送られますように。

## 看護学部 看護学科

看護学科長 浅見 恵梨子

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

春らんまんの中、これから始まる4年間に大きな期待を抱いている人もあれば、自分が看護職に向いているのだろうか、悩みながら入学の人もいたでしょう。私は新入生の4月5月の表情がどうだろうか、とそれとなく見えています。看護大学というところは学士に必要な科目を修めること以外に、その道の職業人になるというレベルが敷かれています。悩みながら入学した人や、入学してから悩みが生じる人（多くの学生が経験することですが）にとって、レールの上を進むということは自分との葛藤であり、しんどいことでしょう。放り出したいと思うこともあるかもしれません。でも、人生の先輩の立場として言えることは、看護職を将来の仕事に選んだ自分の感性に自信をもってほしいということと、適性は持って生まれたものでなく自分で獲得していくものだ、ということとです。私たちはそのためのサポートを惜しみなく提供し、いつも皆さん方を見守り、励ましていきます。

看護学科では、「看護の専門技術を身につけ、こころに寄り添う医療人を育てる」ことを共通理念として、保健師、助産師、看護師の育成を行っています。よいケアを提供するには、しっかりと勉強して知識や技術を身につけることはもちろん、自分自身の人間力を高めることが必要です。大学時代というものは周囲からのいろいろな刺激によって、自分のふるまい、価値観や人生の考え方を変えられる時期でもあります。例えば、身だしなみ、挨拶、ルールを守る、相手の気持ちを思いやる、相手が何を欲しているか考える、まずは受け入れよう、自分のやるべきことをしっかりとやる、少しのことでもへこたれない、明日またがんばろうと前向きに思う、などなど。これらはテキストや参考書にも書かれていません。一日が終る際、今日は何かいことができたかな（自分のため、周囲に）、昨日より成長できたかな、と振り返りの時間をもってください。そして友人を作り、クラブ活動や社会活動など、さまざまな体験を積極的に積んでほしいと思います。

どうぞ、有意義な4年間を送れるよう目的意識をもってがんばってください。

